



(写真) Shutterstock “ペトロ政権 コロンビア不法移民の受け入れ拒否でトランプ政権との関係悪化”

## 2025年1月24日（金曜）

### 政治

- 「[ゴンサレス候補 1月27日に米国出発](#)  
～エクアドル・ペルーで大統領と面談予定～」
- 「[チリ政府 ベネズエラと外交関係断絶しない?](#)」

### 経済

- 「[バイク組み立て 国内産部品切り替えで合意](#)」
- 「[イラン企業 スクレ州で金鉱脈を発見](#)」
- 「[マドゥロ政権 投資手続きの迅速化を検討](#)」
- 「[Focus Economics 25年のGDPは3.5%増](#)」

### 社会

- 「[トランプ就任でダリエン地峡越境者90%減](#)」

## 25年1月25-26日（土・日）

### 政治

- 「[ペトロ大統領 米不法移民便の着陸を不許可](#)  
～トランプ大統領 コロンビアに制裁圧力～」
- 「[ペトロ大統領 トランプ大統領の批判に応酬](#)」
- 「[コロンビアと国境ゲリラ対策で協力強化](#)」
- 「[検察庁 大統領選後の拘束者381人を解放](#)」

### 経済

- 「[経済専門家 移民問題解決には制裁緩和が必要](#)」
- 「[医薬品業界 30日に1度のIVA支払いを提案](#)」

### 社会

- 「[ベネ・ラム酒メーカー2社 世界的に高評価](#)」

2025年1月24日（金曜）

## 政治

「ゴンサレス候補 1月27日に米国出発  
～エクアドル・ペルーで大統領と面談予定～」

1月19日からエドムンド・ゴンサレス候補は米国に滞在している。

ゴンサレス候補は、1月24日にマイアミで予定していた政治イベントをキャンセルしたが、彼のソーシャルメディア・アカウントを確認する限り、24日～26日にかけての予定はかなり余裕のあるスケジュールだったように見える。

1月24日 ゴンサレス候補は、彼の母校である「American University」を訪問し、同大学の Jonathan R. Alger 学長らと意見交換を行った。

なお、ゴンサレス候補は、ベネズエラ政府（当時は現在の野党が政権を担っていた）の奨学金制度で大学に行っていたという。



（写真）@EdomundoGU

“ゴンサレス候補

American University 学長らと意見交換を実施”

その後1月25日、26日と彼のソーシャルメディアを見る限り、誰かと面談したような形跡はない。

現在確認できている情報だと、ゴンサレス候補は1月27日に米国を出発し、エクアドルに移動。エクアドルでダニエル・ノボア大統領と昼食会を行う予定となっている。

また、1月29日にはペルーにてディナ・ボルアルテ大統領と面談する予定となっている。

ゴンサレス候補は、1月3日から欧州を出発し、米州大陸の周遊を開始した。

既にアルゼンチンのミレイ大統領、ウルグアイのラカジェ大統領、米国のバイデン大統領、パナマのムリノ大統領、ドミニカ共和国のアビナール大統領、グアテマラのアレバロ大統領、コスタリカのチャベス大統領、パラグアイのペニャ大統領と面談した。

そして、今後はエクアドル、ペルーで大統領と面談する予定が決まっている。

「[ウィークリーレポート No.390](#)」にて、エドムンド・ゴンサレス候補をベネズエラの当選大統領と認識している国のリストを紹介した。

このリストによると、米州でゴンサレス候補を当選大統領と認識している国で、まだ大統領と面談していないのは、チリ、ガイアナ、カナダ、エルサルバドルの4カ国。

今後、これらの国の大統領と面談することになりそうだが、その後どのような活動を行うのか気になるところだ。

## 「チリ政府 ベネズエラと外交関係断絶しない？」

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1169](#)」にて、チリで拘束されたベネズエラ系マフィア「Tren de Aragua」の構成員が、Ronaldo Ojeda 氏の誘拐・殺害事件について「カベジョ内務司法相の指示を受けた」と証言しているとの記事を紹介した。

本件について、今もチリ検察庁が捜査中だが、この証言が事実と言うことになれば、世界的に見て大きなスキャンダルになる。

チリの Carolina Tohá 内務相は、本件に関連して記者からマドゥロ政権との外交関係について質問を受けると「チリ政府はベネズエラと外交関係を断絶しない」との見解を示した。

「チリ政府は、そのような手法（ベネズエラ政府との外交関係の断絶）にも合意しない」「外交関係を断絶することは容易だ」「その時はそれで良いかもしれない」「しかし、その後の司法・捜査が進展しなくなる」との見解を示した。

ベネズエラのイバン・ヒル外相は、Tohá 内務相の発表に反応。

「チリの閣僚・外交官たちは滑稽だ」  
「帝国主義国の発表を熱心に繰り返すことで、現実を忘れてしまったようだ」  
「チリとベネズエラの外交関係は、2024年8月から断絶している」「チリはベネズエラの外交官を追放し、全ての関係を閉じた」と反応した。

## 経 済

### 「バイク組み立て 国内産部品切り替えで合意」

国内産業・工業省の Laila Tajeldine 次官（国内生産開発担当）、「ベネズエラ自動車生産者商工会（Favenpa）」、「自動車産業中小企業連合（Asopymi）」の代表は会合を実施。

ベネズエラの二輪車組立産業において、ベネズエラの国産部品の使用を拡大することで合意した。

最近の統計は更新されていないが、ベネズエラの自動車組立が低迷している一方で、二輪組立は順調に回復している（[「ウィークリーレポート No.311」](#)）。

直近の公開データによると、2022年の二輪車の年間組立台数は約8万台で、前年（21年）の3.6万台から2倍以上増えていた。



（写真）国内産業・工業省

### 「イラン企業 スクレ州で金鉱脈を発見」

スクレ州政府の Gilberto Pinto 知事は、同州の Mandingal 鉱山の地下120メートルの地点で金の鉱脈を発見したと発表した。



この金鉱脈は、イラン企業「ExpertMinas C.A.」と州政府の団体「スクレ州非鉄鉱物資源開発 (Lamin)」の共同調査により発見されたという。

今回の発見を受けて、州政府とイラン企業は採掘活動を開始し、石油産業に代わる新たな産業を創出すると発表している。



#### 「マドゥロ政権 投資手続きの迅速化を検討」

Menry Fernández 土地農業生産相は、Johan Álvarez 経済特区監督庁らと会合を実施。農業分野などにおける投資家の手続きを迅速化するための手続き簡素化について検討を行った。

Fernández 土地農業生産相は、「手続きを簡素化し、迅速化することで、輸出を促進することを目的としている」と説明した。



トランプ政権による石油産業への制裁強化が予見される中、マドゥロ政権は石油産業に代わる新たな輸出産業の開発を急いでいる。

スクレ州の金鉱脈もそうだが、産業の開発に当たり新たな投資先を探している。

#### 「Focus Economics 25年のGDPは3.5%増」

経済調査会社「Focus Economics」は、2025年のベネズエラ経済成長率について、前年比3.5%増との見通しを示した。

また、消費市場については前年比3.3%増。2025年のインフレ率は前年比53.3%増。為替レートは1ドル101.03ボリバルと予想した。

多くの経済学者が2025年のベネズエラ経済の見通しについて予想している。

しかし、実際のところ、ベネズエラ経済は「米国の対ベネズエラ制裁がどのようになるか」、「原油の国際価格がどのようになるか」に依存しており、ベネズエラ国内で対処できる範囲は限られているのが実態だろう。

なお、経済学者 Pedro Palma 氏は、

「2025年も米ドルとボリバル通貨の2つの通貨が国内で使用される状況は変化しない」

「現在、ベネズエラ国内の主要都市で行われている決済は25%がドル建てだが、2025年はドルの使用割合が現在よりも拡大する」と指摘している。

## 社 会

### 「トランプ就任でダリエン地峡越境者90%減」

パナマの移民管理当局は、2025年1月1日～23日にかけて、ダリエン地峡を越境する移民数は1710名だったと発表。前年同期と比べて93%減ったとした。

パナマ政府によると、2024年1月1日～23日にかけてダリエン地峡を越境した移民は23,099人だったという。

ダリエン地峡は、コロンビアとパナマを結ぶ地峡で、米国を目指す移民の多くがこのルートを通る。

今回の著しい越境者減少について、トランプ大統領が移民排斥的な政策を明確に打ち出したことで、米国に移動しようとする人が減少したことが要因と報じられている。

### 2025年1月25日～26日（土曜・日曜）

## 政 治

### 「ペトロ大統領 米不法移民便の着陸を不許可 ～トランプ大統領 コロンビアに制裁圧力～」

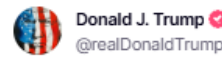
日本でも大きく報じられているが、コロンビアのペトロ大統領が、米国内の不法移民を送還する軍用機2機の着陸を拒否した。

着陸拒否を受けて、トランプ大統領は自身のソーシャルメディアにて、ペトロ大統領を「国内でとても不人気の人物」と批判。「米国の国家安全保障と公共の安全を危険にさらすもの」として、「即座に以下の報復措置を講じるよう命じた」と投稿した。

具体的な報復内容は以下の通り。

- ・米国に入る全製品への25%の緊急関税。
- ・更に1週間後に関税率を50%へ引き上げる
- ・コロンビア政府当局者や政府関係者とその家族、支持者に対する入国禁止とビザ（査証）取り消し
- ・コロンビア人や貨物の入国審査・税関手続き強化
- ・金融制裁の実施

個人的には、この発言はプロレスの試合前のマイクパフォーマンスのようなショーだと思っているが、本当に実施するのであれば、両国の関係に著しい亀裂が走り、コロンビア経済は大きな打撃を受けることになるだろう。



Donald J. Trump  
@realDonaldTrump

I was just informed that two repatriation flights from the United States, with a large number of Illegal Criminals, were not allowed to land in Colombia. This order was given by Colombia's Socialist President Gustavo Petro, who is already very unpopular amongst his people. Petro's denial of these flights has jeopardized the National Security and Public Safety of the United States, so I have directed my Administration to immediately take the following urgent and decisive retaliatory measures:

- Emergency 25% tariffs on all goods coming into the United States. In one week, the 25% tariffs will be raised to 50%.
- A Travel Ban and immediate Visa Revocations on the Colombian Government Officials, and all Allies and Supporters.
- Visa Sanctions on all Party Members, Family Members, and Supporters of the Colombian Government.
- Enhanced Customs and Border Protection Inspections of all Colombian Nationals and Cargo on national security grounds.
- IEEPA Treasury, Banking and Financial Sanctions to be fully imposed.

These measures are just the beginning. We will not allow the Colombian Government to violate its legal obligations with regard to the acceptance and return of the Criminals they forced into the United States!

26.6k ReTruths 107k Likes

Jan 27, 2025, 3:28 AM

(写真) トランプ大統領 Truth Social

## 「ペトロ大統領 トランプ大統領の批判に応酬」

1月26日 コロンビアのペトロ大統領は、前述のトランプ大統領によるソーシャルメディアでの投稿に対して応酬した。

投稿はかなりの長文なので、一部を引用すると

「トランプ、私は米国を退屈な国だと思っており、旅行したいと思っていないが、ワシントンの黒人居住区に行くのは好きであることを告白する。そこで黒人・ラテン人がバリケードを作り、争っているのを目撃した。共に連帯しなければいけないのに、争っており、馬鹿げた話だと感じた」

「トランプ、私はあなたの石油は好きではない。強欲によって人類を絶滅しようとしている。私は胃炎ではあるが、ウイスキーと一緒に飲むことを受け入れることもできるだろう。その時には率直に対話できることを望んでいる」「しかし、それは難しいのだろう。何故ならあなたは私のことを劣等種だと考えている。しかし、私はそうではないし、コロンビア人もそうではない」

「頑固な人がいるとすれば、それは私だろう。アジェンデに行ったように経済力と傲慢さをもって、クーデターを引き起こすかもしれない。しかし、私はあなたの拷問に耐え、我が国の法律と共に死を選ぶ。私は自由の信奉者であり、コロンビアを奴隷にしたくない。あなたがこの考えに同調できないのであれば、私は別の方向に進む。コロンビアは世界の心臓であり、あなたはそれを理解しなかった」

「あなたは我々の自由を好まないかもしれないが、私は白人の奴隷主義者に迎合するつもりはない」「リンカーンの精神を引き継ぐ自由主義の白人や米国の一般大衆に対して手を伸ばす」

など、トランプ大統領に対して、かなり挑戦的な内容が書かれている。

そもそも、ペトロ大統領がコロンビア不法移民を乗せた軍用機の到着を拒否した理由だが、ペトロ大統領は「コロンビア移民を犯罪者のように扱い、人道的な扱いを受けなかったため」「米国で滞在することを望んでいるコロンビア国民を強制送還することを受け入れることはできない」「仮に送還するのであれば、彼らと我が国に対する尊厳をもって送還しなければいけない」と主張している。

また、「尊厳ある帰還」として、コロンビア大統領機で彼らをコロンビアに迎えることを提案しており、コロンビアへの不法移民の送還自体を拒絶しているわけではなさそうだ。

なお、これは米国からブラジルに強制送還された時の映像を抜粋したものだが、強制送還された人々は、手錠を掛けられ軍用機に乗せられていたという。

コロンビアに強制送還された不法移民も同様の扱いを受けていたということかもしれない。



(写真) RCN Radio



また、本件について、米国のマルコ・ルビオ国務長官は、「ペトロ政権は、不法移民の受け入れに合意していた」「しかし、飛行機での移動中に受け入れを拒否した」と説明し、ペトロ大統領の突然の方針変更を批判している。

## 「コロンビアと国境ゲリラ対策で協力強化」

「ベネズエラ・トゥデイ No.1168」で紹介した通り、ベネズエラとコロンビアの国境付近で、コロンビア系ゲリラ「国民解放戦線（ELN）」と「FARC」の残党が衝突を始め、60～80名の死者が出ており、地元住民少なくとも3.6万人が周辺地域に避難している。

1月26日 この状況を受けて、コロンビアの Iván Velásquez 国防相とベネズエラの Vladimir Padrino 国防相がタチラ州サンクリストバルで協議を実施した。

Velásquez 国防相の説明によると、同協議でテーマに挙げたのは「ベネズエラ国内で活動している ELN を取り締まること」「麻薬取引の取り締まりについて」の2点だという。

「この地域で栽培されるコカインの大半は、ベネズエラ経由でカリブ海に流れており、取り締まりを強化する必要がある」と説明した。



(写真) Al Navio

翌1月27日 ベネズエラの Padrino 国防相は、国境周辺の人道危機のために3か月間の特別オペレーションを実施すると発表。コロンビア政府と協力してゲリラ組織の取り締まりを強化する姿勢を示した。

なお、国境周辺での麻薬取引にはベネズエラ軍部高官が深く関与しており、ELN と協力関係にあると指摘されている。ベネズエラ軍部にどこまで取り締まりの意志があるかは疑問が残るところだろう。

## 「検察庁 大統領選後の拘束者381人を解放」

1月25日 検察庁は、7月28日の大統領選後に拘束した反政府活動家381人を解放したと発表した。検察庁の発表によると、今回の解放により、これまでに1896人が解放されたことになる。

検察庁は、大統領選後に拘束した反政府活動家の人数は約2400人と発表しており、まだ500人前後が拘束されたままということになる。



[プロフィールを表示](#)



### COMUNICADO

#### Ministerio Público informa 381 nuevas revisiones de medidas vinculadas a sucesos post 28J para sumar 1.896 excarcelaciones

El Ministerio Público informa que, como parte de su permanente actualización de las investigaciones que adelanta, incluyendo aquellas relacionadas con personas vinculadas a los hechos de violencia post electoral, ha determinado de la mano con el Poder Judicial, un nuevo grupo de personas a quienes se les ha solicitado revisión de medida.

En este sentido, fueron solicitadas y acordadas entre los días 16 de enero y 24 de enero del año 2025 un total de 381 revisiones, las cuales sumadas a las tramitadas anteriormente y que han sido informadas en comunicados previos, dan una cifra total de 1.896 excarcelaciones otorgadas hasta la presente fecha, en el marco del respeto e irrestricta observancia a los principios y garantías que consagra la Constitución de la República.

El Ministerio Público se mantiene incólume en su condición de parte de buena fe, objetiva e imparcial, trabajando en pro de la defensa de la Paz, la Justicia y los Derechos Humanos.

Caracas, 25 de enero de 2025.

## 経済

## 「経済専門家 移民問題解決には制裁緩和が必要」

ベネズエラ人経済学者 Francisco Rodríguez 氏は、ベネズエラへの経済制裁を強化することは、「不法移民を減らす」というトランプ政権の政策の足かせになると主張。

「不法移民を減らすためには、ベネズエラへの制裁を緩和させる必要がある」との見解を示した。また、「制裁の再強化は、過去に失敗した政策の繰り返しでしかない」と指摘した。

トランプ大統領は、大統領就任後に「恐らく我々はベネズエラ産原油の購入を停止することになるだろう」とコメントしており、ベネズエラ石油産業への制裁強化が懸念されている。

## 「医薬品業界 30日に1度のIVA支払いを提案」

「ベネズエラ医薬品商工会 (Caifar)」の Tito López 代表は、付加価値税 (IVA=日本で言う消費税) の支払い頻度を30日に1度に変更するよう提案。

「第1四半期中にこの提案に具体的な結果が出ることを期待している」との見解を表明した。

現在ベネズエラは付加価値税の支払い頻度は15日に1度である。

ベネズエラは慢性的なインフレ国だったため、30日が経過すれば、ボリバルの価値は大きく変化する。時間経過による価値の下落を抑えるため、ベネズエラは15日に1度と高頻度で付加価値税を支払う必要がある。

これが会社の事務作業を煩雑にしている大きな要因になっている。

2024年以降、インフレ率は比較的落ち着いており、今回の提案を行ったと思われる。

## 社会

## 「ベネ・ラム酒メーカー2社 世界的に高評価」

米国誌「Forbus」は、「2024年、世界的に評価の高いラム酒・蒸留酒ブランド」の特集を組んだ。

同特集の中で、ベネズエラの「Destilerías Unidas SA (会社名)」の「Ron Diplomático Reserva Exclusiva (ラム酒の商品名)」および「Finca Ronera Santa Teresa」の「Santa Teresa 1796」がトップ10にノミネートされた。

なお、トップ10と言っても1位～10位ではなく、10ブランド全て同列で扱われている。

他のラム酒としては、プエルトリコの「Bacardí Gran Reserva Limitada (Destilería Bacardí)」、ガイアナの「Ron El Dorado 15 YO (Demerara Distillers)」、バルバドスの「Mount Gay XO (Destilería Mount Gay)」などの名前が挙がっている。

以上